（別紙4）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	愛の園児童発達支援センター　オリーブ緑が丘

公表日　2026年　8月　1日

利用児童数　回収数 40

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	5	0	1	・遊戯室、中庭は広いが療育室（テーブルのある部屋）はせまいように感じる。 ・まだ通い始めたばかりの為、分からない事が多く、適切な回答が出来ていないかもしれません。	利用人数に見合った部屋の広さは確保されていますが机の配置やパーテーションの有効活用などを工夫し、子どもたちが落ち着いて生活できる環境を整え定期的な見直しと改善を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	12	6	5	・子どもの人数が増えたなら大人の数も増やすべき。 ・利用人数を見きれていない。バタバタしている感じが伝わってきたり、急な職員の休みに対応できておらず利用者に負担が生じている。 ・肢体不自由児、重心心身障害児などは手のかかる子がいるので忙しそうです。 ・実際の活動の様子が分からない。 ・人員に余裕がないように感じます。子どもによっては関わりが少ない印象です。 ・作業療法士を入れて頂きたい。	急な欠員等が生じた際にも安定した支援を提供できるよう、エール緑ヶ丘とも連携を図り、職員の補完体制を整えます。また、業務効率化と職員採用を進め、職員が一人ひとりとゆとりを持って関われる体制づくりを進めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	1	0	3	・壁面の掲示物が多かったり、多動の特性がある利用者には気が散りやすい環境に思った。 ・障害特性のある子の幅が広すぎて適切な配慮が分からない。	子ども達が落ち着いて過ごせるよう、室内の掲示物を整理・精選し、視覚的な刺激を減らす「構造化」に取り組みます。様々なお子様の特性に合わせた適切な配慮や設備安全について、職員間での共有を行い、改善を進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	1	0	1	・雨が降っている時は廊下が滑りやすいので気をつけてほしい。	雨天時はこまめな拭き掃除を行うことで、転倒事故の防止を心掛けています。今後も常に清潔で安全、子どもたちが快適に過ごせる環境維持に努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	6	2	2	・とても忙しそうに見えるため分からない。 ・人員不足なのか、STさんOTさんの支援が分からない。 ・今後に期待はしていますが、他事業所も検討。 ・手指や手先のプログラムも取り入れているが、専門的な指導もお願いしたい。	現在、「エール」所属の専門職（ST・OT等）による支援を受けられるよう調整を進めております。体制が整い次第、個別に専門的な支援を行う時間を設けていき、取り組み状況を保護者の方と共有できる体制づくりを進めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	31	5	1	3	・まず、何の為の活動なのか、普段の過ごし方が分かりづらく支援の内容が見えにくい。	日々の活動内容に加えて活動のねらいや児童一人一人の具体的な様子をより詳しく記載するよう工夫いたします。普段の過ごし方や支援プログラムの内容が伝わる丁寧な連絡記入に努めます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	3	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	6	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	5	1	2	・一年生は園庭で慣れるまで過ごしたり計画通りに行かないこともあると思う。 ・日々の活動の様子が分からないため。（連絡帳は「何をやったか」のみの為）	発達段階に合わせ柔軟に対応しつつ、計画に沿った支援を行います。また、連絡帳の記述を「何を行ったか」だけでなく「どのように過ごし、どのような変化や成長を見せたか」という個別の様子にも重点を置くよう心掛けていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	6	1	6	・どのような活動をしているかあまり詳しくは分からない。プログラムは知らない。 ・色々な経験をさせてくれている。	日々の連絡帳等を通じて、活動プログラムの具体的な取り組み内容がしっかり伝わるよう改善いたします。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	10	20		
保護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	0	0	0	・説明は丁寧だった。しかし、利用後のイメージとの差が大きくあった。	事業所が目指す支援体制の構築をさらに進め、定期面談やモニタリングの際に今後の見通しや改善状況を丁寧に説明します。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	3	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	3	4	7	・ペアレント、トレーニングの研修会があるのかはよく分からないが、適宜声をかけて頂いている。	現在、事業所でのペアレント・トレーニング等の実施には至っておりませんが、日頃の面談や連絡等を通じた個別のご相談・助言を丁寧に行ってまいります。また、行政や関係機関が主催する家族向け研修や講座情報の提供に努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	9	1	0	・忙しい事もあると思うので簡単に話しを終わるようにしている。時間がある時は様子を聞いている。 ・日々の状況はお話しするタイミングがなっく伝えられていない。（送迎で忙しそう） ・活動の内容はファイルに記載があるが、利用時の様子、発達状況はあまりフィードバックがない。	送迎時等短い時間でもお話しができるよう、職員配置や連携を見直します。また、対面でお話しする時間が十分に取れない場合でも、連絡帳等の記述内容を充実させ、日々の様子のフィードバックに努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	4	0	1	・助言等はあまり機会がなくもう少し行ってほしいです。	定期的な面談の機会を設定するとともに、子育ての困りごとをいつでも気軽に相談し、必要な助言やサポートを得られるよう、相談しやすい体制づくりを進めます。

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	2	0	3	・前児発管にはいろいろと相談に乗ってもらったり遅くに電話を頂いたり、感謝している。 ・話しはよく聞いてくれる（一部の先生）	今後も全職員が一丸となって保護者の思いに耳を傾け、共感的に寄り添い、職員間の情報共有に努め丁寧な支援を実践します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	5	7	10	・保護者会はあったかと思いますが、兄弟への支援は分からない。 ・保護者会や参観日のイベントが土曜日なのでほとんど参加していない。 ・新入生歓迎会に参加させて頂いた。	まずは面談や日頃の関わりを通じ、一人ひとりに寄り添った対応を徹底してまいります。今後、保護者同士の交流やイベント等を企画・実施する際には、忙しい方も参加いただきやすいよう、早期の案内と日程調整に配慮します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	6	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	3	2	・現状、電話かノートのみで少し不便を感じた（アプリに期待） ・情報共有や伝達が行き届いていないことが多いです。（アプリに期待）	連絡アプリを活用した迅速なお知らせや出欠確認を行いつつ、連絡漏れを防ぐための職員間の情報共有の仕方を見直していき、確実で丁寧な意思疎通に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	2	2	7	・分からない ・年間行事があると良い。土曜日のイベントや説明会に参加したくてもギリギリで分かったりするため、仕事の調整がつかず一度も行事に参加出来ていない。	行事や取り組みの予定についてできる限り早い段階でのスケジュール共有・事前案内に努めます。あわせて、日々の活動概要や自己評価結果等の適切な情報共有を行い、見通しを持って安心してご利用いただける運営を目指します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	1	0	9	・実施されているとは思うが分からない。 ・説明を受けた記憶がないため	安全対策や緊急時対応について、保護者へ概要の共有や周知を改めて進めてまいります。また、定期的に行う各種訓練の実施状況やお知らせを積極的に発信し、安全管理に対するご理解と信頼の向上に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	2	0	10	・実施されているとは思うが分からない ・説明を受けた記憶がないため	非常災害時に備えた避難訓練について、年間計画に基づき定期的な実施と定着を図っております。児童の安全確保を最優先とし、実際の災害時に迅速に対応できるよう継続的な訓練を重ねます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	33	2	1	2	・子どもがケガをして帰ってきたことがある。 ・説明を受けた記憶がない ・何をしているか分からないので安全面の配慮も具体的に知りたい。 ・学校の迎え時に転んでけがをしたことがあるので注意してほしい。	送迎時における移動の際、職員の見守り体制と安全確認ルールを再徹底し、ケガの防止に努めます。また、事業所で実施している安全計画や事故防止策について積極的にお知らせし、安心してお預けいただける環境づくりに努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1	2	4	・以前はこちらから連絡しなければ説明も謝罪もありませんでしたが、最近は少し改善が見られたように思います。 ・説明を受けた記憶がないため ・けがの際、すぐに連絡がもらえなかったので今後の再発防止を希望。	ケガ等が発生した際の連絡体制を見直し、迅速な初期連絡、詳細な状況と原因のご説明、具体的な再発防止策のご提示を徹し、不信感や不安を与えない対応に努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	1	1	0	・車で迎えに来てもらう事を喜んでいる。	今後とも子どもたちが自分らしく、のびのびと安心して生活出来る安全な環境維持を徹底してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	4	1	0	・子どもがオリーブへ行くことをとても楽しみにしている。 ・生き渋っている様子があります。楽しく活動が出来ていないのかもしれない。 ・笑顔で帰って来る。 ・オリーブが大好きな様子。	大半の子どもが楽しみに通われているお言葉を励みとし、今後も一人ひとりの思いや特性に寄り添い、すべての子どもたちががより一層楽しく安心して通所できるよう、活動内容の工夫や丁寧な関わりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	6	1	1	・イベントがなくなり、職員も忙しそうなので心配。 ・子どもへの対応はとても考えているように感じるが、管理、運用面で不安になることがある。ルールを明確にし関係者間で周知する。また、アナログな管理により負担が多いのではと感じる部分があるので、ツールを上手く活用して運用してほしい。 ・先生方もとても親切で優しい。 ・今は不安が大きい。今後の改善に期待。	事務体制（アナログ管理）の課題についてはICTツール（連絡アプリ等）の活用を推進し、業務の効率化と確実な情報共有を図ります。あわせて支援ルールの明確化と全職員での周知徹底を行いながら、子どもたちと向き合う時間をより一層大切にし、安心して信頼していただける事業所づくりに努めます。

その他意見

イレギュラーにも関わらず子どもを預かって頂き、大変ありがたく思う。送迎も必ず2人体制で行っており、細かい配慮に対し感謝。